

はじめに

AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト (SAA-C02) 試験は、ソリューションアーキテクトの役割を担う個人を対象としています。この試験では、受験者が AWS テクノロジーを使って安全で安定したアプリケーションの設計およびデプロイ方法に関する知識を効果的に実証できるかどうかを検証します。

次のような受験者の能力が検証されます。

- 顧客要件に基づいてアーキテクチャ設計原則を使ったソリューションを定義する。
- プロジェクトのライフサイクル全体を通じて、ベストプラクティスに基づいた実装ガイダンスを組織に提供する。

推奨される AWS 関連知識

- AWS 上で使用可能な、コスト効率が高く、フォールトトレラントでスケーラブルな分散システムを設計する 1 年間の実務経験。
- コンピューティング、ネットワーキング、ストレージ、およびデータベース 関連の AWS のサービスを使用した実務経験。
- AWS のデプロイメントおよび管理サービスの実務経験。
- AWS ベースのアプリケーションの技術要件を特定して定義する能力。
- 特定の技術要件を満たす AWS のサービスを特定する能力。
- AWS プラットフォーム上に安全で信頼性の高いアプリケーションを構築するために推奨されているベスト プラクティスに関する知識。
- AWS クラウドで構築される基本的なアーキテクチャ原則の理解。
- AWS グローバルインフラストラクチャの理解。
- AWS に関連するネットワークテクノロジーの理解。
- AWS が提供するセキュリティ機能とツール、およびそれらが従来のサービスとどのように関連しているかの理解。

試験の準備

AWS トレーニング: アーキテクティングに関する試験準備コースウェアについては、[トレーニング Web サイト](#)を参照ください。

AWS ホワイトペーパー: [ホワイトペーパー](#)はコースウェアを補完します。

試験内容

回答の種類

試験の問題には次の 2 種類があります。

- **選択問題:** 正しい回答が 1 つと、間違った回答 (ディストラクタ) が 3 つあります。
- **複数回答:** 5 つ以上のオプションのうち、正解が 2 つ以上あります。

文章を最も適切に完成するか、質問に答える 1 つ以上の回答を選択します。ディストラクタ、または間違った回答は、不完全な知識やスキルを持つ受験者が選択しがちな回答オプションです。ただし一般的には、試験のために定義されたコンテンツ分野に適した妥当な回答です。

未回答の質問は不正解として採点されます。推測だという理由で減点されることはありません。

採点対象外のコンテンツ

試験では、統計情報を収集するためにテストに採点対象外の試験問題が入っている場合があります。

これらは試験問題上で明示的に識別されず、採点に影響しません。

試験結果

AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト (SAA-C02) 試験には合否があります。この試験は、認定業界のベストプラクティスとガイドラインを手引きに AWS プロフェッショナルが確立した最低基準に基づいて採点されます。

試験の結果は 100~1000 点の得点で報告され、合格点は 720 点です。得点は、試験全体の成績とその合否を示します。スケーリングされた得点モデルは、難易度がわずかに異なる複数の試験間で得点を均等にするために使用されます。

得点レポートには、各セクションレベルでの成績の分類表が記載されています。この情報により、試験の成績に関する一般的なフィードバックが行われるよう作られています。試験は、補償採点モデルを使用しているため各セクションで「合格」する必要はありません。試験の各セクションにはそれぞれ重み付けが異なるため、質問数が他のセクションより多い場合があります。表には一般的な情報が含まれており、長所と短所をわかりやすく示しています。セクションレベルのフィードバックを解釈するには注意が必要です。

コンテンツの概要

この試験ガイドには、重み付け、テスト分野、および目的のみが含まれます。この試験の内容の包括的なリストではありません。次の表は、主な内容分野とその重み付けを示したものです。

分野	試験の比率
分野 1: レジリエントアーキテクチャの設計	30%
分野 2: 高パフォーマンスアーキテクチャの設計	28%
分野 3: セキュアなアプリケーションとアーキテクチャの設計	24%
分野 4: コスト最適化アーキテクチャの設計	18%
合計	100%

分野 1: レジリエントアーキテクチャの設計

- 1.1 多層アーキテクチャソリューションの設計
- 1.2 可用性の高いアーキテクチャやフォールトトレラントなアーキテクチャの設計
- 1.3 AWS のサービスを使用したデカップリングメカニズムの設計
- 1.4 適切な回復力のあるストレージの選択

分野 2: 高パフォーマンスアーキテクチャの設計

- 2.1 ワークロードに対する伸縮自在でスケーラブルなコンピューティングソリューションの識別
- 2.2 ワークロードに対するパフォーマンスとスケーラブルなストレージソリューションの選択
- 2.3 ワークロードに対するパフォーマンスが高いネットワーキングソリューションの選択
- 2.4 ワークロードに対するパフォーマンスの高いデータベースソリューションの選択

分野 3: セキュアなアプリケーションとアーキテクチャの設計

- 3.1 AWS リソースへのセキュアなアクセスの設計
- 3.2 セキュアなアプリケーション階層の設計
- 3.3 適切なデータセキュリティオプションの選択

分野 4: コスト最適化アーキテクチャの設計

- 4.1 コスト効率が高いストレージソリューションの識別
- 4.2 コスト効率が高いコンピューティングおよびデータベース サービスの識別
- 4.3 コスト最適化ネットワークアーキテクチャの設計